

「石田・海老名記念 北斗医学賞」の概要

1. 目的

医学研究のうち、微生物学・免疫学・腫瘍学・公衆衛生学等の分野で卓越した業績を挙げた、日本細菌学会東北支部会員の若手研究者を顕彰することにより、同分野に関わる医学の発展あるいは疾病対策の推進に資し、もって人類の健康と繁栄に貢献することを目的とする。

2. 賞の名称

センダイウイルスの発見者である石田名香雄先生と、長年にわたって日本細菌学会東北支部会を支え本賞を主催してきた海老名卓三郎先生を記念し、「石田・海老名記念 北斗医学賞」と称する。

3. 受賞対象者 毎年1名

- ◆ 感染症・免疫病・がん等の疾病対策のため、東北の医学研究分野において顕著な功績を挙げた者。公衆衛生学については、受賞理由となる功績が主に東北で実践され地域の保健・福祉の向上に貢献した者であること。
- ◆ 日本細菌学会東北支部総会において優れた演題発表を行っていること。
- ◆ 年齢が演題発表時において満40歳以下であること。
- ◆ 国籍は問わない。

4. 本賞・副賞

賞状を贈呈し、副賞として10万円を授与する。

5. 選考

地方委員会で候補者3名を選抜し選考委員会に提案し、「北斗医学賞選考委員会」が提案された候補者の中から選考を行い決定する。選考委員は支部長、学会長および地方員会委員若干名で組織する。

過去の受賞者

第1回（平成23年度）

渡邊王志 氏（国立病院機構仙台医療センター臨床研究部ウイルスセンター）

第2回（平成24年度）

生田和史 氏（福島県立医科大学医学部微生物学講座）

第3回（平成25年度）

小笠原康 悦氏（東北大学加齢医学研究所・生体防御学分野）

第4回（平成26年度）

三好就英 氏（東北大学大学院農学研究科・動物微生物学分野）

第5回（平成27年度）

小野久弥 氏（弘前大学大学院医学研究科感染生体防御学講座）

第6回（平成28年度）

森田英嗣 氏（弘前大学農学生命科学部・分子生命科学科）

第7回（平成29年度）

西川路武人 氏（宮城県立がんセンター研究所・がん先進治療開発研究部）

第8回（平成30年度）

井田智章 氏（東北大学大学院医学系研究科・環境医学分野）

第9回（令和元年度）

河部剛史 氏（東北大学大学院医学系研究科・免疫学分野）

第10回（令和4年度）

鈴木康規 氏（北里大学獣医学部・獣医衛生学研究室）